

来月の消費予報

2020.12.23

1月の消費意欲指数は、前月から大きく低下し 1月としては過去最低水準に。

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。※12月上旬に調査(詳細はP5)
2021年1月の消費意欲指数は48.6点。前月比-6.3ptの低下、前年比±0.0ptで同スコアとなっています。

1月の消費意欲指数



48.6点

【前月比】

-6.3 ポイント

【前年比】

+0.0 ポイント

■ : 前月比/前年比で上昇 ■ : 前月比/前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(1月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

カテゴリー別 消費意向

【前月比】



【前年比】



★ UP : 前月比/前年比で20人以上増加 ● DOWN : 前月比/前年比で20人以上減少

「来月(1月)、特に買いたいモノ/利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ/利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

1月のポイント

Point1 : コロナ再燃の影響から、消費意欲指数は例年より低水準に

クリスマスや年末などのイベントシーズンを終えた1月は、例年消費意欲指数が低下する月です。今年も前月から-6.3ptの低下となりました。また今月の48.6点は、9月の消費税増税の影響のあった前年と同じ値で、過去最低値だった2018年(48.5点)と同水準となっており、例年1月と比べると低めとなっています。

消費意欲指数の理由(自由回答)をみると、9月以降減少していた、消費にネガティブな回答(「今月までに使った反動で節約」など)は、5か月ぶりに増加に転じており(2020年9月1,048件→10月974件→11月957件→12月775件→2021年1月970件)、コロナ禍に関連する、消費にネガティブな回答(「コロナで外出・買物ができない」など)でも同様の傾向となっています(2020年9月376件→10月256件→11月178件→12月149件→2021年1月253件)。

また、消費意欲指数が50点を超えていた前々年1月と比べると、「新年・お正月だから」(2019年1月90件→2020年1月72件→2021年1月48件)、「セール・福引」(2019年1月176件→2020年1月136件→2021年1月81件)、「欲しいものがある」(19年1月123件→20年1月114件→21年1月87件)などが減少する一方、収入減、ボーナス減など「金銭的理由での節約・我慢」(2019年1月103件→20年1月84件→21年1月152件)が増加するなど、コロナ禍の影響が再び高まりつつあるようです。

Point2 : 消費意向も多くのカテゴリーで低下

「特に買いたいモノ/利用したいサービスがある」人の割合は、26.7%で、前月比-11.9ptと大きく低下、前年比は消費意欲指数と同様に増税の影響もあり、+0.6ptの横ばいとなっています。

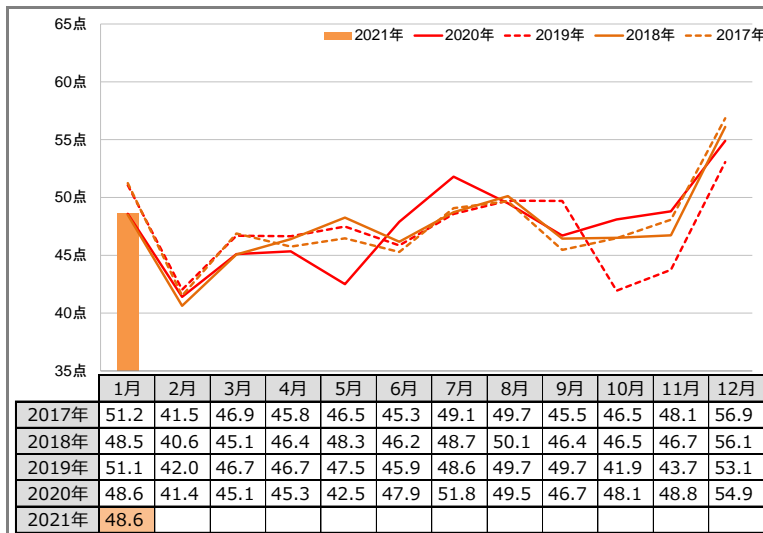
カテゴリー別の消費意向については、前月増加していた「食品」「外食」「ファッション」を中心に、16カテゴリー中11カテゴリーで20件以上減少しています。

消費意欲指数

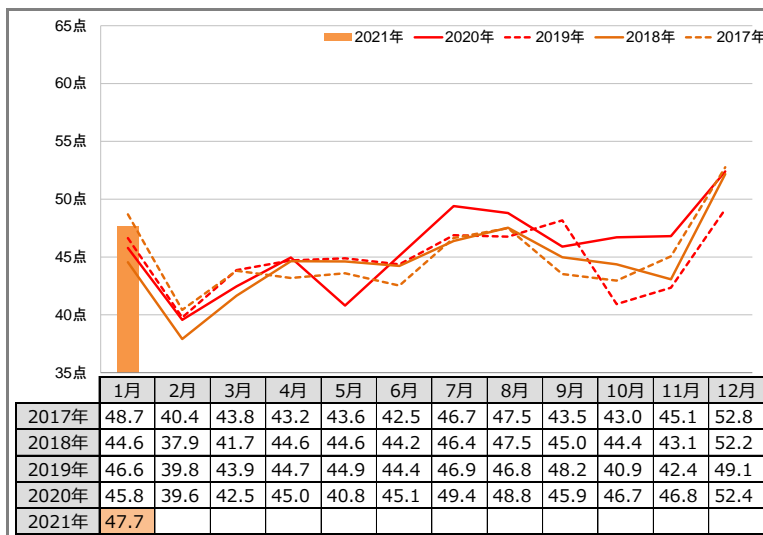
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(1月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

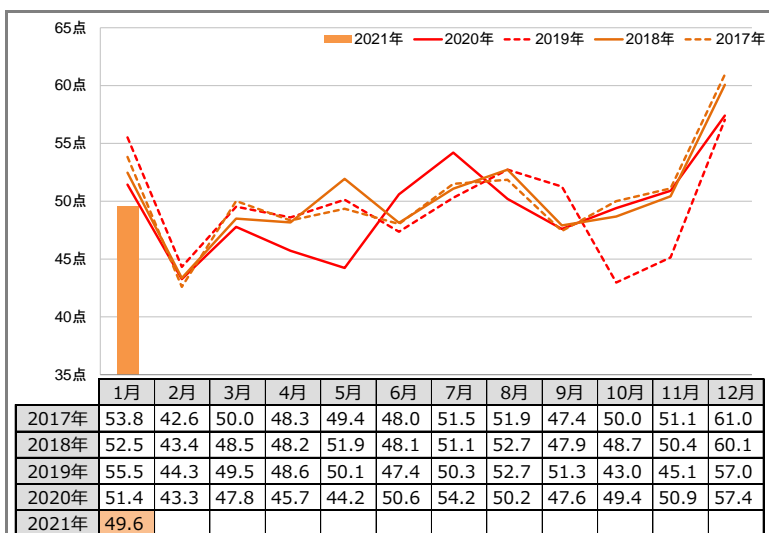
【全体】



【男性】



【女性】



消費意欲指数

■ 性別/年代別比較

	(点)						21年1月比較	
	20年8月	20年9月	20年10月	20年11月	20年12月	21年1月	前月比	前年比
全体	49.5	46.7	48.1	48.8	54.9	48.6	-6.3	0.0
男性	48.8	45.9	46.7	46.8	52.4	47.7	-4.8	1.9
女性	50.2	47.6	49.4	50.9	57.4	49.6	-7.7	-1.8
20代	50.3	47.1	49.2	48.8	56.6	48.9	-7.7	-0.2
30代	51.5	43.4	49.4	49.0	55.7	50.6	-5.1	0.4
40代	51.1	47.3	48.6	49.0	57.1	50.1	-7.0	1.3
50代	47.0	47.4	43.9	47.0	51.5	45.0	-6.6	-2.8
60代	47.5	48.4	49.7	50.5	53.6	48.7	-4.8	1.5

+3pt以上の増加
-3pt以上の減少

■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【1月ならではの消費にポジティブな回答】>

- ・新年で気分転換をしたいから(100点・男性24歳・千葉県)
- ・冬服がセールで安く買えるから(80点・男性37歳・愛知県)
- ・年が明けて新しいものが欲しくなり、消費意欲が高まるが、コロナの影響で若干抑えられる(70点・男性46歳・愛知県)
- ・初売り等のイベントが多いから(60点・男性55歳・千葉県)
- ・お年玉や年始のあいさつなどで出費がかかりそう(100点・男性69歳・大阪府)
- ・新年だし、お正月もあるのでものを買いたいが、コロナで経済的に打撃も受けているので、吟味して買い物するから(70点・女性26歳・東京都)
- ・年初めに新しく服を購入する意欲が湧いてきそうだから(80点・女性36歳・大阪府)
- ・お正月に実家に挨拶に行って、近くのショッピングモールをのぞくから(100点・女性45歳・大阪府)
- ・お正月で福袋や洋服のセールがあるから(100点・女性50歳・岐阜県)
- ・来年は、コロナウィルスも少し収まって生活が今より落ち着くかと思いい、新しい年は、いろいろな物を購入したいと思うから(80点・女性60歳・愛知県)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【コロナ禍に関する消費にネガティブな回答】>

- ・コロナの影響で外に出ない日が多くなったから(5点・男性27歳・埼玉県)
- ・コロナウィルスの感染拡大で先の状態がわからないから(20点・男性34歳・大阪府)
- ・コロナウィルスの影響で出かけることに抵抗があるので、家の中で過ごすことが多いし、正月休みの影響で給料が少ないので(30点・男性45歳・愛知県)
- ・まだまだ、新型コロナウイルス感染が落ち着いていないと思うので(30点・男性56歳・大阪府)
- ・夫婦で温泉旅行に行きたいと思うが安全安心に旅行ができるかわからないから(30点・男性66歳・東京都)
- ・来月もコロナが流行した状態で、外食も旅行もままならないので、貯金して、コロナがおさまったときに消費をしたいから(30点・女性22歳・東京都)
- ・コロナで出歩けないし、収入がへったから(40点・女性34歳・大阪府)
- ・新型コロナの拡大により、年末年始は親族の集まりも中止としたため、お年賀の購入や、衣類を新調する必要がない(5点・女性45歳・千葉県)
- ・コロナで、出かけられる事も少なくおうち時間が主になる為(30点・女性56歳・愛知県)
- ・以前は友達とバーゲンセールに行ったりしたが、コロナ禍で友達に会うこともままならない状況なので。物欲もなくなって、買い物に行きたいと思わなくなっている(10点・女性67歳・兵庫県)

()内点数:消費意欲指数

(参考) 新型コロナウイルス周りの主な動き ※前回調査(11月5日～9日)後より今回調査(12月3日～8日)まで

- 11月11日 日本医師会長、感染拡大『第3波』指摘 全国で新規感染者数1,547人確認、7府県過去最多
- 11月18日 東京都、2か月ぶりに警戒レベル最大へ
- 11月19日 東京都の新規感染者数、初の500人超え
- 11月21日 GoToトラベル、一時停止、首相表明 感染拡大地域への旅行予約対象
- 11月25日 東京都、飲食・カラオケ店に20日間の時短要請
- 11月27日 GoTo Eat、東京都や大阪府含め10都道府県で中断
- 12月3日 大阪府が『医療非常事態』 重症病床利用率、7割に迫る
- 12月5日 全国の重症者数520人、3日連続で最多 東京の新規感染者数も最多の584人

補足資料③

特に買いたいモノ・サービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(1月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2021年1月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	26.7	-11.9	0.6
男性	24.8	-9.5	-1.2
女性	28.6	-14.4	2.4

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(400人)

参考:男性(187人)

参考:女性(213人)

順位	カテゴリー	1月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	204	-78	-29
2	食品	164	-133	-12
3	外食	150	-116	-19
4	旅行	131	-64	-9
5	飲料	116	-53	-11
6	書籍・エンタメ	113	-21	+12
7	家電・AV	107	-5	+7
8	化粧品	97	-31	+19
9	日用品	92	-29	+9
10	レジャー	91	-32	+11
11	理美容	77	-50	+13
12	パソコン・タブレット・周辺機器	72	+8	+9
13	インテリア用品	67	-16	+3
14	装飾品	58	-24	-13
15	スマートフォン・携帯電話	56	-10	+4
16	車・バイク	42	+2	-9

順位	カテゴリー	1月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	76	-22	-8
2	食品	65	-33	-22
3	外食	63	-35	-18
4	旅行	62	-30	-7
5	家電・AV	60	-2	-2
6	書籍・エンタメ	59	-10	+1
7	飲料	50	-21	-22
8	パソコン・タブレット・周辺機器	45	-7	-1
8	レジャー	45	-12	+6
10	日用品	40	+1	+3
11	スマートフォン・携帯電話	35	-12	+5
12	車・バイク	34	+2	-10
13	インテリア用品	26	-6	+4
14	装飾品	25	-8	-6
15	化粧品	19	+5	+11
15	理美容	19	-5	+5

順位	カテゴリー	1月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	128	-56	-21
2	食品	99	-100	+10
3	外食	87	-81	-1
4	化粧品	78	-36	+8
5	旅行	69	-34	-2
6	飲料	66	-32	+11
7	理美容	58	-45	+8
8	書籍・エンタメ	54	-11	+11
9	日用品	52	-30	+6
10	家電・AV	47	-3	+9
11	レジャー	46	-20	+5
12	インテリア用品	41	-10	-1
13	装飾品	33	-16	-7
14	パソコン・タブレット・周辺機器	27	+15	+10
15	スマートフォン・携帯電話	21	+2	-1
16	車・バイク	8	±0	+1

<全体にのみ下記基準で色付け>

:前月比/前年比で20人以上増加

:前月比/前年比で20人以上減少

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(1月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(1月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要	生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。
調査地域	①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏
調査対象者	20～69歳の男女
対象者割付	調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付
サンプル数	合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	145	190	161	137	755
女性	119	141	185	158	142	745
合計	241	286	375	319	279	1,500

調査方法	インターネット調査
調査時期	2020年12月3日(木)～8日(火)(2012年4月から調査開始/毎月上旬に実査)
調査機関	株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

<備考>

「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

・博報堂生活総合研究所は、12/18付で「第9回 新型コロナウイルスに関する生活者調査(2020年12月)」を発表いたしました。

<https://www.hakuhodo.co.jp/uploads/2020/12/20201218.pdf>

こちらは、毎月第3～4週頃に発表する予定です。併せてご利用下さい。

問い合わせ先 株式会社博報堂 広報室(寺村) 03-6441-6161 koho.mail@hakuhodo.co.jp

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2021-01/>)からダウンロードしていただけます。